

調査報告書

- 1 とき：2011 年 11 月 11 日
- 2 行先：稲武野外教育センター・豊田市百年草
- 3 参加者：わしの恵子、岡田ゆき子、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容

事業仕分け対象の野外教育センターを視察調査した。

松浦所長の意見

- ・ 最初、事業仕分けの対象と聞いて、喜んで帰る子どもたちの顔が浮かび信じられなかった。中味を読んで情けなくて涙がでそうになった。論点に疑問を感じる。教育に費用対効果を入れるべきでない。
- ・ 冬季の有効利用は厳しいと思う。最高気温は 0 度以下で、マイナス十数度になる日もある極寒地だから山道の道路はつるつるに凍る。今の施設では水道管も凍り、暖房設備もないので利用は難しい。冬季は水道が使えないので職員は毎日近くの川へ水くみにいきトイレなどの生活用水にしている。
- ・ 稼働日数を上げると言っても、学校関係の平日利用はなかなか厳しい。学校行事ある月に予約が集中していて 6 月は空いてしまう。代替可能という意見も出たが他の施設もいっぱいなので無理だと思う。
- ・ 現在 3 人の市職員と 1 2 人の嘱託員で全てをやっている。
- ・ 冬季の閉館中に、この時しか出来ない仕事を職員で行っているので忙しい。
- ・ 子どもたちの教材キットを作る、丸太を切ってキャンプ材料の用意、広大な敷地の草刈りや剪定などの整備、2 コースあるハイキングコースの整備、安全確保のための工事、体育館のワックスをはがして 2 度がけする、などやることは沢山ある。
- ・ 水道管の凍結防止水抜き作業も業者に頼むと何百万もするが全て職員で行い経費削減もしている。1 2 人の嘱託員は地元の人で、普通なら業者に頼むことも自らやり、本当によくやってくれる。施設のクォリティーを上げるために皆一生懸命だ。この人たちの雇用も守りたい。
- ・ 場所が遠いとの意見もあったが、この山の中まで来るわくわく感も、日常とは違い良いのだと思う。日頃問題児の子が心を広げてくれたりもする。
- ・ 自然の中での教育も必要だ。
- ・ 事業仕分けの利用者数は延べにしてほしかった。日帰りでも 1 人、3 泊した人も 1 人では厳しい。

- 広大な施設内を全て見せてもらったが、どこも手入れが行き届き、よく整備されていた。いろんな工夫もされていて、大人も楽しく利用できそうだ。
- 教育に費用対効果ばかり言うのはおかしい。
- 22年前につくった、この恵まれた施設を大切に利用すべきだ。
- そもそも、今回の事業仕分けの方法に疑問を感じる。与えられた資料で判定員はどこまで理解できたのだろうか？



陸上競技場、野球場2面、バレーコートが3面とれる体育館、テニスコート12面、ハンドボール4面、キャンプファイアー場、キャンプ場、90分コースのハイキングコースが2つ、工作室、研修室・宿泊室・職員室の入った管理棟、7つの宿泊棟、食事と風呂の建物、とにかく広い。

《豊田市 百年草》

- ・ 飛び込みで行ったので、見学のみ。
- ・ 地元のお年寄りたちが工房で楽しそうに作業していた。ソーセージとパンを購入したが無添加で美味しかった。
- ・ ディサービスも緑の中なので気持ちよいことだろう。
- ・ 宿泊室を見たが、どの部屋も窓が大きく緑がきれいに映り広さもある。各部屋違った造りで楽しかった。(松ヶ島と同じ後期高齢者制度の値引きが使える)
- ・ 日帰り風呂も大人200円と格安。
- ・ パンフレットの通り、年齢を問わず楽しく利用できる複合施設だと思いました。